

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、5月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、特集「情報処理技術の未来地図」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■情報処理のこれからについて大きな枠でさまざまな観点から書かれており、特に「27 情報処理の未来地図」では、特集の各記事に触れながら総括的にまとめて書かれていたためとても分かりやすかったです。また、公募論文については、それぞれ扱っている内容は大変興味深かったのですが、1ページという制限があったためか、内容が少し分かり辛いものが多かったため、各記事2ページ程度の構成でもいいのではないかと思います。(大竹杏奈)

■特集における投稿論文の内容においては、ほとんどが大学教官の研究の延長線の内容である。これが、本当に未来地図と言えるのか、大きな疑問を持ったと同時に大変がっかりした。これには、選考委員の年齢層や職業が大きく影響している。もっと、選考委員に柔軟な発想を持った方やいろいろな分野の方の入り交じりの要素が必要である。今後このような偏った方のみで選考するのであれば、この学会の発展はないであろう。(松田昭信)

■最近「〇〇工学」という言葉がよく使われますが、「法令工学」は初耳でした。しかし、「3 法令工学：安心な社会システム設計のための総合ソフトウェア科学」を読むことによって、概略ではありますが理解できました。限られたスペースにもかかわらず、まったくの初心者が興味を持って読むことができた良い記事だと思います。(匿名希望)

■特集の論文群は大変に読み応えがあった。予想がいい意味で裏切られることを期待したい。(柘田秀夫)

■情報処理の世界にも普遍的な課題と一過性の課題があることを感じました。普遍的な課題を少しずつでも解きほぐすことに貢献できたらうれしいと思いました。(阿南佳之)

■50周年記念特集号ということで、10年前に予想した現在は結果どうであったかという話や、その反省(?)をもとにこれからの未来についての話が語られており、非常に興味深いものでした。(匿名希望)

特集「写真で綴る情報処理学会全国大会50年史」につきましては、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■「情報処理学会、これからの50年 白鳥則郎会長」の記事を興味深く読みましたが、技術の面のみから見た発言のようにみえました。産業の発展のためには、アイデア段階での発表などに法制上の保護整備も必要となってきます。視野を広く文系(法律家など)の人と協調し仲良くすることも今後必要になると考えます。(匿名希望)

■40年この世界で働いてきた者として、懐かしく読ませていただいた。(匿名希望)

■これからの10年でどのように変化していくのか、10年後に同様の企画で振り返るのは面白いと思います。(匿名希望)

■インタビュー記事は読みやすく理解しやすいので、今後も増やしてほしい。今号のように論文が多いと読むのは大変だが、多方面の話題に興味がかきたてられた。(大垣憲俊)

■竹内先生と和田先生のインタビュー記事で、全国大会をお祭りとして楽しむという話があり、自分が最近「何事も楽しんでしまおう」としていないことに気づきました。貴重な時間を費やすわけですから、研究や開発も楽しんでやっていたと思います。(匿名希望)

■全国大会の記念特集ということで、学会に古くからかわる先生方の意見を拝見できました。教職としての教授や学生、研究者、企業の人間と、立場により学会に対する考え方が異なると感じます。それらの差異やこれからの学会方針について、引き続き特集していただければと思います。(匿名希望)

■今回の特集は、50年という期間の変遷が写真などを使ってまとめてあり、知らなかった過去の状況を垣間見た気がします。発表環境が変わっていくのは、情報機器の発展を見るようでもあり楽しめました。(匿名希望)

連載「古機巡礼/二進伝心 平成21年度情報処理技術遺産および分散コンピュータ博物館認定式」につきましては、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■昔の情報分野において活躍したさまざまな機器やソフトウェアが取り上げられていましたが、平成生まれの私にとっては初めてみるものも多かったため興味深く拝読しました。(大竹杏奈)

トピックス「情報処理学会が日本将棋連盟に「コンピュータ将棋」で挑戦状」につきましては、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■コンピュータ将棋の日本将棋連盟への挑戦は興味深い。対戦が楽しみであるとともに、コンピュータ将棋の進化(アルゴリズムや処理速度など)に関する解説も期待している。

(坂川浩二郎)

報告「最近の情報システム教育研究 ICIS2008 から J07-IS を見る」
につきましては、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■情報システム教育についての報告がなされており、テーマとしては興味深いものであったのですが、報告という体裁をとっているためか当該分野についての知識があることを前提に書かれているように感じ、記事の内容がすんなりとは頭に入ってきませんでした。(大竹杏奈)

委員会から「出版物オンライン化の時代を迎えて」につきましては、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■電子書籍、電子出版への関心が高まる中で「出版物オンライン化の時代を迎えて」は、現状と取組みがよく分かる良い記事でした。NII との連携などによって、取り組まれる現状が分かり、参考になりました。慎重な取組みや検討も必要ですが、先進的な取組みを実践する組織であってほしいと願っています。モニタとなり、iPad や iPhone でも読めればと…と思うこともしばしばです。研究会のサイトや既存の論文がより有機的に結びつき、知を創造するツールとして、学会誌が魅力的なものになることを期待しています。(高橋慈子)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■情報学教育（専門教育のみならず教養教育も）の最新動向について取り上げてほしいと思います。(水野光朗)

■1つのテーマを時間軸に沿って（歴史的視点から）扱うようなこともしていただきたい（可能な範囲で）。(人見憲司)

■GPGPU や CELL などを含めた並列処理の現状と今後の展望や、将棋、囲碁などの思考アルゴリズムの動向。(匿名希望)

■数学者や数理科学者からみた情報処理や、物理学者からみた情報処理など、情報処理という分野に期待するもの、または今後どう協力体制をとっていくかを知りたい。(匿名希望)

■スマートグリッドなどエネルギー行政、分野における取り組み（とくに信頼性の確保のための設計や実験への観点から）を希望します。(匿名希望)

■IT 技術と社会生活が上手にマッシュアップされている研究の最新動向（たとえば、ライフログなどの個人情報取得技術やそれらに使用されるデバイスに関して）。(匿名希望)

■なりたい職業の順位やベンチャー企業設立数などを他国と比較しつつ、ソフトウェア技術者の最新事情を取り上げてほしい。また、ロボット産業における国際標準化の動向やサービスロボットが普及するための規制緩和の特集をやってほしい。(石澤隆範)

■会誌の広告ページはもっと増やしてもいいのではないだろうか。広告には、時代を反映した資料価値も生じると思う。(大垣憲俊)

【本欄担当 尾崎亮太、花谷嘉一／書評・ニュース分野】

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」<URL:<http://www.ipsj.or.jp/07editj/dokusha/dokusha.html>> に掲載していますので、そちらもご参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/michishirube/michishirube.html>> で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html>>

応募先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
情報処理学会 会誌編集部
E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax (03) 3518-8375
<https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enquete.html>

ご意見をお寄せ
ください!!



IP SJ カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	論文誌「トラスト・マネジメント」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/11-L.html	10月31日(日)		
	論文誌「人と共存するコンピュータセキュリティ技術」 特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/11-N.html	11月30日(火)		
	論文誌「組込み/リアルタイムソフトウェア」特集への 論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/11-M.html	11月30日(火)		
8月18日(水)～	情報教育シンポジウム2010	5月16日(日)	定員になり次第	群馬県渋川市伊香保 (雨情の湯 森秋)
8月20日(金)	http://ce.eplang.jp/index.php?SSS2010			
8月23日(月)～	第17回エンタテインメントコンピューティング研究発表会	6月25日(金)	当日のみ	香川大学
8月24日(火)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/EC17.html			
8月26日(木)～	平成22年度電気関係学会東北支部連合大会	6月11日(金)		八戸工業大学
8月27日(金)	http://www.ecei.tohoku.ac.jp/tsjc/			
8月30日(月)	情報処理学会平成22年度臨時総会 http://www.ipsj.or.jp/03somu/rijikai_sohkai/sohkai/soukai2010-h220830.html			化学会館会議室
8月30日(月)～	平成22年度電気関係学会東海支部連合大会	6月28日(月)		中部大学春日井 キャンパス
8月31日(火)	http://www2.iee.or.jp/~tokai/rengo2010/index.html			
8月30日(月)～	ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム2010 (SES2010)	4月30日(金)	8月24日(火)	東洋大学 白山キャンパス
9月1日(水)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/S-SES2010.html			
9月2日(木)～	DA シンポジウム2010 - システム LSI 設計技術と DA -	5月14日(金)	7月23日(金)	ホテル日航豊橋
9月3日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/S-DA2010.html			
9月2日(木)～	第2回教育学習支援情報システム研究発表会	7月2日(金)	当日のみ	徳島大学工学部 共通講義棟
9月3日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CLE2.html			
9月2日(木)～	第55回モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究発表会	7月5日(月)	当日のみ	群馬大学 (桐生キャンパス)
9月3日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/MBL55.html			
9月2日(木)～	第70回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会	7月20日(火)	当日のみ	長崎県勤労福祉会館
9月3日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/AVM70.html			
9月5日(日)～	第173回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会	6月14日(月)	当日のみ	福岡大学
9月6日(月)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CVIM173.html			
9月7日(火)～	FIT2010 第9回情報科学技術フォーラム			九州大学伊都 キャンパス
9月9日(木)	http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2010/index.html			
9月8日(水)～	第140回グラフィクスとCAD研究発表会	6月24日(木)	参加申込は当日可, 宿泊申込メ切は 8月5日(木) 17:00	リゾーピア熱海
9月9日(木)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CG140.html			
9月10日(金)	連続セミナー 2010 第3回「企業向けクラウドサービスのビジネスインパクト」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2010/index.html		定員になり次第	東京電機大学 丹羽ホール
9月10日(金)	第49回電子化知的財産・社会基盤研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/EIP49.html	7月25日(日)	当日のみ	新潟大学 駅南キャン パス「ときめいと」
9月11日(土)～	平成22年度電気関係学会北陸支部連合大会	8月6日(金)		福井工業高等専門学校
9月12日(日)	http://jhes.fukui-nct.ac.jp			
9月13日(月)～	第113回情報システムと社会環境研究発表会	7月12日(月)	当日のみ	静岡産業大学 磐田駅前学舎(静岡)
9月14日(火)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/IS113.html			
9月16日(木)～	グループウェアとネットワークサービスワークショップ2010 (GN Workshop 2010)	7月2日(金)		ナスパニューオータニ
9月17日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/GNWS2010.html			
9月21日(火)	東海支部主催講演会「脳情報の解読に基づく福祉機器制御シス テムの開発」 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html			名古屋大学
9月22日(水)	平成22年度関西支部支部大会 http://www.ipsj.or.jp/sibu/kansai/ipsj-kansai/sibutaikai_22/index.html	6月25日(金)		大阪大学中之島 センター
9月22日(水)	第131回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/AL131.html	7月16日(金)	当日のみ	函館工業高等専門学校
9月24日(金)	第77回デジタルドキュメント研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/DD77.html	7月21日(水)	当日のみ	筑波大学東京 リエゾンオフィス
9月25日(土)	平成22年度電気関係学会四国支部連合大会 http://sjciee.ymw.ne.jp/	7月23日(金)		愛媛大学城北 キャンパス
9月25日(土)～	平成22年度第63回電気関係学会九州支部連合大会	7月20日(火)		九州産業大学
9月26日(日)	http://www.jceee-kyushu.jp/			
9月28日(火)～	第80回数理モデル化と問題解決研究発表会	8月3日(火)	当日のみ	北海道大学 学術交流会館
9月29日(水)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/MPS80.html			
10月2日(土)	第106回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CE106.html	8月16日(月)	当日のみ	秋田大学
10月2日(土)	情報処理北海道シンポジウム2010 Info-Hokkaido 2010 http://hokkaido.ipsj.or.jp/info2010/	8月27日(金)		北海道大学情報科学 研究科棟2F
10月5日(火)～	第146回システム LSI 設計技術研究発表会	7月16日(金)	当日のみ	幕張メッセ 国際会議場
10月6日(水)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/SLDM146.html			
10月13日(水)	第127回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/HPC127.html	8月6日(金)	当日のみ	理化学研究所 和光キャンパス
10月15日(金)	第11回インターネットと運用技術研究発表会 http://iot.ipsj.or.jp/		当日のみ	大阪市立大学
10月18日(月)	第183回計算機アーキテクチャ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/ARC183.html	8月27日(金)	当日のみ	早稲田大学 西早稲田 キャンパス
10月19日(火)	連続セミナー 2010 第4回「クラウドコンピューティング技術の肝(要素技術)」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2010/index.html		定員になり次第	東京電機大学 丹羽ホール

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
10月23日(土)	平成22年度(第61回)電気・情報関連学会中国支部連合大会 http://rentai.csse.oka-pu.ac.jp/	8月10日(火)		岡山県立大学 (岡山県総社市)
10月27日(水)~	組込みシステムシンポジウム(ESS2010)	6月17日(木)		国立オリンピック記念 青少年総合センター
10月29日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/S-ESS2010.html			
10月28日(木)~	第81回プログラミング研究発表会	8月27日(金)	当日のみ	高知県立文学館
10月29日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/PRO81.html			
10月30日(土)	第88回人文科学とコンピュータ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CH88.html	8月23日(月)	当日のみ	国立国語研究所 (東京都立川市)
11月4日(木)	第100回情報基礎とアクセス技術研究会 http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/sighp/fi/		当日のみ	立命館大学エポック 立命21
11月8日(月)	連続セミナー2010第5回「電子行政・社会基盤サービスを担うセキュアクラウド」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2010/index.html		定員になり次第	東京電機大学 丹羽ホール
11月12日(金)~	第151回データベースシステム研究発表会	9月21日(火)	当日のみ	早稲田大学 理工学術院
11月13日(土)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/DBS151.html			
11月20日(土)~	第107回コンピュータと教育研究発表会	10月4日(月)	当日のみ	香川大学
11月21日(日)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CE107.html			
11月22日(月)~	IWSEC2010International Workshop on Security			神戸国際会議場
11月24日(水)	http://www.iwsec.org/2010/			
11月29日(月)~	コンピュータシステム・シンポジウム(ComSys2010)	7月16日(金)		大阪大学 中之島センター
11月30日(火)	http://www.ipsj.or.jp/sig/os/index.php?ComSys2010			
12月1日(水)	第114回情報システムと社会環境研究発表会 http://ipsj-is.jp/		当日のみ	東海大学 高輪キャンパス
12月6日(月)	連続セミナー2010第6回「次世代クラウドコンピューティングに向けて」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2010/index.html		定員になり次第	東京電機大学 丹羽ホール
12月9日(木)	第3回教育学習支援情報システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/sig/cle/		当日のみ	京都大学
12月9日(木)~	第3回インターネットと運用技術シンポジウム(IOTS2010)	8月31日(火)		山口ケーブルビジョン
12月10日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/IOTS2010.html			
2011年				
	東海支部学生研究発表会助成 http://www.ipsj-tokai.jp/	2月28日(月)		
2月5日(土)~	第108回コンピュータと教育研究発表会	12月17日(金)	当日のみ	東京農工大学
2月6日(日)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CE108.html			
3月2日(水)~	第73回全国大会			東京工業大学 大岡山キャンパス
3月4日(金)	http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/73kai/index.html			
3月10日(木)~	ネットワーク生態学研究グループ 第7回シンポジウム		定員になり次第	蔵王ルーセント タカミヤ
3月12日(土)	http://www.jaist.ac.jp/~yhayashi/NetEcoG_top.html			
3月17日(木)~	第115回情報システムと社会環境研究発表会		当日のみ	専修大学 神田キャンパス
3月18日(金)	http://ipsj-is.jp/			
3月19日(土)~	第109回コンピュータと教育研究発表会	1月31日(月)	当日のみ	神戸大学
3月20日(日)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CE109.html			
3月23日(水)~	The 10th International Symposium on Autonomous Decentralized Systems (ISADS2011)			東京サピアタワー
3月25日(金)	http://www.isads2011.info.hiroshima-cu.ac.jp/			
8月30日(火)~	6th International Conference on Collaboration Technologies (CollabTech 2011)			東京
8月31日(水)	http://www.collabtech.org/			
2012年				
11月11日(日)~	ICPR2012第21回パターン認識国際会議			つくば国際会議場
11月15日(木)	http://www.icpr2012.org/			

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 7月15日 人材募集(7月)更新しました
- 7月2日 「人と共存するコンピュータセキュリティ技術」特集の論文募集
- 7月1日 一般社団法人への移行のお知らせ
- 6月15日 人材募集情報(6月)更新しました

人材募集 (有料会告)



申込方法: 任意の用紙に件名, 申込者氏名, 勤務先, 職名, 住所, 電話番号および請求書宛先, Web掲載の有無などを記載し, 掲載希望原稿 ([募集職種, 募集人員, (所属), 専門分野, (担当科目), 応募資格, 着任時期, 提出書類, 応募締切, 送付先, 照会先]) を添えて下記の申込先へ E-mail, Fax または郵送にてお申し込みください。

*都合により編集させていただく場合がありますので, ご了承ください。

申込期限: 毎月 15 日を締切日とし翌月号 (15 日発行) に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関, 国公立研究機関 21,000 円 (税込)

賛助会員 (企業) 31,500 円 ()

賛助会員以外の企業 52,500 円 ()

*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り, 追加料金 4,000 円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。

申込先: 情報処理学会 会誌編集部門 (有料会告係) E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■国士館大学理工学部理工学科

募集人員 准教授または講師 (下記A, B各1名)

所属 電子情報学系

専門分野 A. 通信工学・電磁波工学に関する分野 (1名), B. 情報通信ネットワークに関する分野 (1名)

応募資格 博士の学位を有し, 特に教育に熱意のある方。学部および大学院で教育・研究指導ができる方

着任時期 平成23年4月1日

提出書類 履歴書, 研究業績, 主要論文別刷 (5編程度, コピー可), その他の業績 (特許等), 教育実績, 所属学協会およびその学協会での活動歴, 社会貢献実績, 受賞歴, 科学研究費などの研究資金の獲得状況, これまでの主要研究の概要と今後の研究計画, 教育と研究についての今後の抱負 (2000字程度), 推薦状1通, 応募者本人を照会可能な方2名の氏名・所属・連絡先 (電話番号, E-mailアドレス等)

応募締切 平成22年8月31日 (必着)

送付先/照会先 〒154-8515 東京都世田谷区世田谷4-28-1 国士館大学理工学部理工学科電子情報学系 電子情報学系主任 山崎 貴

E-mail:yamasaki@kokushikan.ac.jp Tel(03)5481-3275 *応募書類等は返却いたしません。

その他 【選考方法】一次審査 (書類審査), 二次審査 (面接およびプレゼンテーションによる選考)

上記内容の詳細については必ず本学 Web ページ (<http://www.kokushikan.ac.jp>) で確認してください

応募書類は, 「学校法人国士館個人情報保護規程」に基づき, 適切に管理・処分いたします

■国立天文台 ALMA 推進室

募集人員 特定契約職員 (専門研究職員) 3名

専門分野 国立天文台で推進している日米欧国際共同プロジェクト ALMA のソフトウェア開発・改良業務, 特に相関器ソフトウェア開発, 解析ソフトウェア開発, システム試験の担当。なお, 仕事を進めるにあたり米欧の開発者との英語によるコミュニケーションが必要

応募資格 少なくとも1つの高級言語 (C, C++, Java, Python など) に堪能なこと。XML, CORBA などの知識があれば, より好ましい。英語に堪能なこと (TOEIC800点以上または英検準1級以上相当)

着任時期 平成22年10月1日

提出書類 履歴書, 計算機に関するこれまでの経験を含め抱負をまとめた文章, また, 希望する担当業務についても記述してください (A4用紙2枚程度), できるだけ迅速に連絡がとれる連絡先 (複数可)

応募締切 平成22年8月31日17時 (必着)

送付先 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台 ALMA推進室長 立松健一

照会先 ALMA推進室 小杉城治 E-mail:george.kosugi@nao.ac.jp

その他 詳細は Web ページ (<http://www.nao.ac.jp/>) の「採用情報」を参照ください

■筑波大学先端学際領域研究センター (TARA)

募集人員 講師または助教 1名
 専門分野 情報学に関連する分野
 担当職務 アスペクト教授と協調・連携して担当分野の研究を推進, 生命領域学際研究の積極的推進, センター運営への貢献
 研究内容 生体信号処理, 応用音響, デジタル信号処理
 応募資格 学位(博士)を有すること
 着任時期 平成23年4月1日(予定)
 提出書類 履歴書(様式任意), 研究業績リスト(原著論文・著書・特許・製品開発・作品等)*, 主要な発表論文・書籍(5編以内, コピー可), 教育業績・社会貢献・受賞・招待講演等のリスト*, 過去5年間の研究費獲得状況*, その他, 今までの業績を説明するもの*, 今後の計画と抱負(2000字程度)*, 応募者について問合せができる方2名の氏名・所属と連絡先 *様式任意
 応募締切 平成22年8月31日(必着)
 送付先 〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学先端学際領域研究センター長 深水昭吉
 「TARAセンター講師または助教応募書類在中」と朱書き書留 *原則として提出書類の返却はいたしません
 照会先 先端学際領域研究センター 教授 牧野昭二 E-mail:maki@tara.tsukuba.ac.jp Tel/Fax(029)853-6432
 その他 情報学に関するアスペクトコア研究 (<http://www.tara.tsukuba.ac.jp/>)
 【任期】採用時から5年以内(再任1回可)
 選考の過程で追加書類の提出や, 来学の上, ご講演をいただく場合があります

■鹿児島大学

募集人員 教授 1名
 所属 情報生体システム工学専攻
 専門分野 生体信号計測・解析, 医療福祉ロボティクスなどの医用生体工学分野
 応募資格 当該専門分野で博士の学位を有し, 当該専門分野における研究業績があり, 学部・大学院の教育と研究を担当できる方, またグループ研究にも積極的に参画する意欲を持つ方
 着任時期 決定後できるだけ早い時期
 提出書類 履歴書, 審査調書(様式は, <http://www.eng.kagoshima-u.ac.jp/><社会人, 一般の皆様へ>をご覧ください), その他に特記事項があれば, それを記載した書類, 参考となる意見を伺える方2名の氏名と連絡先
 応募締切 平成22年9月16日(必着)
 送付先 〒890-0065 鹿児島県鹿児島市郡元1-21-40 鹿児島大学大学院理工学研究科 教員選考委員会(工学系事務課総務係気付)
 選考委員長 白樂善則 *「教員応募書類」と朱書き書留
 照会先 情報生体システム工学専攻 専攻長 中山 茂 E-mail:shignaka@ibe.kagoshima-u.ac.jp Tel(099)285-8442
 その他 詳細はWebページ (<http://hh.kuas.kagoshima-u.ac.jp/saiyou/saiyou.htm>)をご覧ください

■東海大学理学部情報数理学科

募集人員 教授, 准教授あるいは講師いずれか 1名
 専門分野 代数学および代数学の情報分野への応用
 担当科目 代数学, コンピュータ代数, 数学(線形代数, 微積分)など
 応募資格 教育に関しては学部学生の基礎から専門までの幅広い授業および学生指導に熱意をもってあたり, 研究に関しては上記専門分野において高い研究能力を有する方. 博士(Ph.Dを含む)の学位を持ち, 大学院での研究指導ができる方
 着任時期 平成23年4月1日
 提出書類 履歴書(E-mailアドレスも記入のこと), 研究業績リスト(学術論文, 国際会議論文, 著書, 解説, その他の研究発表に分類したもの), 実社会における業績書(もしあれば), これまで担当した主な授業科目, これからの教育・研究に対する抱負(書式自由1500~2000字程度), 主要論文別刷(5編以内, コピー可), 2名程度照会可能な方の氏名と連絡先
 応募締切 平成22年9月16日(必着)
 送付先/照会先 〒259-1292 神奈川県平塚市北金目4-1-1 東海大学理学部情報数理学科学科 主任 古山恒夫 E-mail:furuyama@tokai-u.jp
 Tel(0463)50-2223(直通)または(0463)58-1211(ext.3644)「教員公募」と朱書き簡易書留 *応募書類は返却いたしません
 その他 【選考方法】書類選考, 面接, プレゼンテーション, その他
 選考結果は本人に通知します

■公立大学法人秋田県立大学システム科学技術学部電子情報システム学科

募集人員	教授 1名
所属	情報システム講座
専門分野	情報工学とその関連分野。特に、情報ネットワーク分野の教育と研究に実践的に取り組んで、その成果を社会貢献に結びつける意欲のある方を求めます
担当科目	(学部)情報ネットワーク工学, 人工知能論, 光工学など (大学院)情報ネットワーク特論など
応募資格	博士の学位を有し研究上の業績を有する方。当該分野の教育と研究に熱意を持ち、地域貢献にも意欲のある方。国籍は問わないが日本語に堪能な方。採用が決定した場合、確実に着任できる方
着任時期	平成23年4月1日
提出書類	履歴書(記載要領参照のこと)、研究業績リスト(学術論文は、学術論文(査読付き)、国際会議発表論文(査読付き)、その他、に分類して記載のこと、また主要なもの5編に○をつけること)、主要論文(5編、コピー可)、これまでの研究および教育ないしは社会活動の概要(1000字程度)、教育に対する抱負(1000字程度)、研究・地域貢献に対する抱負(1000字程度)、応募者について2名以上からの意見書(厳封のこと)、科研費等外部資金獲得の実績がある場合は過去5年間における状況一覧
応募締切	平成22年9月17日(必着)
送付先	〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷宇海老ノ口84-4 秋田県立大学 システム科学技術学部 学部長 小林 淳 「電子情報システム学科教員応募書類在中」と朱書き簡易書留 *応募書類は返却いたしません
照会先	電子情報システム学科長 佐藤宗純 E-mail:sojun_sato@akita-pu.ac.jp Tel(0184)27-2090 (ダイヤルイン)
その他	記載要領および現在の学科構成や活動内容等についてはWebページ(http://www.akita-pu.ac.jp/)をご覧ください

■上智大学理工学部情報理工学科

募集人員	准教授 (1), (2) 各1名
専門分野	(1)通信ネットワークとその関連 (2)確率統計とその関連
担当科目(予定)	(1)通信ネットワークシステム, 制御工学, 情報理工学実験, 情報リテラシ演習, セミナール, 卒業研究指導 (2)数理ファイナンス基礎, 確率と統計, 情報理工学演習, 情報リテラシ演習, セミナール, 卒業研究指導
応募資格	博士の学位を有する・卒業研究・大学院研究指導が可能・英語で講義が可能な方
着任時期	平成23年4月1日
提出書類	履歴書(E-mailアドレスを明記のこと)*, 研究業績リスト*, 科研費等外部資金取得リスト*, 主要論文別刷(5編程度, 各1部, コピー可), これまでの研究概要(2000字程度)*, これまでの教育概要(教育歴のある方のみ)*, 着任後の研究計画と教育への抱負(2000字程度)*, 応募者について問合せできる方2名の氏名・連絡先 *A4用紙, 1通
応募締切	平成22年9月17日(必着)
送付先	〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1 上智大学理工学部長 早下隆士 書留にて送付のこと
照会先	理工学部情報理工学科長 伊藤 潔 E-mail:query@infosyse.me.sophia.ac.jp
その他	応募書類郵送と同時に、氏名・所属・電話番号・E-mailアドレス、連絡先住所(郵便番号含む)の電子情報をquery@infosyse.me.sophia.ac.jpに、件名「上智・情報理工教員応募(氏名)」で送信すること 詳細はWebページ(http://www.sophia.ac.jp/jpn/info/employment/koubou_rikou)をご覧ください

■東北工業大学工学部情報通信工学科

募集人員	教授または准教授 1名
専門分野	人工知能, ニューラルネットワーク, 知識情報処理
担当科目	情報処理入門, コンピュータアーキテクチャ, ソフトウェア設計, 工学実験等
応募資格	博士の学位を有する方, もしくは着任までに取得見込みの方で, 学生の教育に熱意のある方
着任時期	平成23年4月1日
提出書類	履歴書(学歴, 職歴, 教育歴, 所属学会名, 学会活動, 社会活動等), 研究業績リスト(博士論文, 学会誌論文, 国際会議論文, 解説論文, 著書, 特許などに分けて記載), 主要論文別刷(3編, コピー可), 東北工業大学での学生の教育に対する抱負(1000字程度), 応募者について所見をいただける方2名の連絡先(E-mail/電話番号)
応募締切	平成22年9月17日(必着)
送付先/照会先	〒982-8577 宮城県仙台市太白区八木山香澄町35-1 東北工業大学工学部情報通信工学科 学科長 村岡一信 E-mail:muraoka@tohtech.ac.jp Tel(022)305-3419 Fax(022)305-3402 「教員応募書類在中」と朱書きし簡易書留 *提出書類は返却いたしません
その他	【選考方法】書類選考の後, 面接選考(プレゼンテーションを含む) 詳細については本学Webページ(http://www.tohtech.ac.jp/)をご覧ください

■福井大学大学院工学研究科

募集人員 教授または准教授 1名
 所 属 電気・電子工学専攻システム工学講座
 専門分野 システム工学全般。特に、集積回路工学、環境電磁工学、生体医用工学、生物情報工学、情報通信工学、最適化理論に関連する分野
 応募資格 博士の学位を有し、専門分野において教育や研究上の業績を有する方
 着任時期 平成23年4月1日
 提出書類 履歴書、研究業績リスト、学会活動・社会貢献等の業績、主要論文別刷、教育実績、獲得した外部資金一覧、研究・教育に対する抱負、参考意見を伺える方2名の氏名と連絡先
 応募締切 平成22年9月17日(必着)
 送 付 先 〒910-8507 福井県福井市文京3-9-1 福井大学大学院工学研究科電気・電子工学専攻 専攻長 勝山俊夫
 「教員応募書類在中」と朱書き簡易書留
 照 会 先 電気・電子工学専攻 廣瀬勝一 E-mail:hirose@fuee.u-fukui.ac.jp Tel(0776)27-9738
 そ の 他 詳細はWebページ (http://www.u-fukui.ac.jp/cont_about/recruit/recruit.html) をご覧ください

■鹿児島大学大学院理工学研究科

募集人員 助教 1名
 所 属 電気電子工学専攻
 専門分野 情報通信、信号処理
 応募資格 電気電子工学分野で博士の学位を有し、当該専門分野における研究業績があり、学部・大学院の教育と研究を担当できる方
 着任時期 決定後なるべく早い時期(遅くとも平成23年4月1日まで)
 提出書類 履歴書、審査調書(詳細は<http://www.eng.kagoshima-u.ac.jp/><社会人、一般の皆様へ>をご覧ください)、主要論文別刷(3編以内、コピー可)、参考となる意見を伺える方2名の氏名と連絡先
 応募締切 平成22年9月24日(必着)
 送 付 先 〒890-0065 鹿児島県鹿児島市郡元1-21-40 鹿児島大学大学院理工学研究科 教員選考委員会(工学系事務課総務係気付)
 選考委員長 二宮秀典 「教員応募書類」と朱書き書留
 照 会 先 電気電子工学専攻 宮島廣美 E-mail:miya@eee.kagoshima-u.ac.jp Tel(099)285-8422
 そ の 他 詳細はWebページ (<http://hh.kuas.kagoshima-u.ac.jp/saiyou/saiyou.htm>) をご覧ください

■鹿児島大学大学院理工学研究科

募集人員 助教 1名
 所 属 電気電子工学専攻
 専門分野 無線通信システムのハードウェアを扱う分野
 応募資格 電気電子工学分野で博士の学位を有し、当該専門分野における研究業績があり、学部・大学院の教育と研究を担当できる方
 着任時期 決定後なるべく早い時期(遅くとも平成23年4月1日まで)
 提出書類 履歴書、審査調書(詳細は<http://www.eng.kagoshima-u.ac.jp/><社会人、一般の皆様へ>をご覧ください)、主要論文別刷(3編以内、コピー可)、参考となる意見を伺える方2名の氏名と連絡先
 応募締切 平成22年9月24日(必着)
 送 付 先 〒890-0065 鹿児島県鹿児島市郡元1-21-40 鹿児島大学大学院理工学研究科 教員選考委員会(工学系事務課総務係気付)
 選考委員長 吉田昌弘 「教員応募書類」と朱書き書留
 照 会 先 電気電子工学専攻 宮島廣美 E-mail:miya@eee.kagoshima-u.ac.jp Tel(099)285-8422
 そ の 他 詳細はWebページ (<http://hh.kuas.kagoshima-u.ac.jp/saiyou/saiyou.htm>) をご覧ください

■東邦大学理学部情報科学科

募集人員	教授・准教授・または専任講師 1名
専門分野	数理系、特に、解析および確率、または、論理および言語、情報科学の観点を理解し、教育研究を推進していただける方が望ましい
担当科目	以下のような内容の授業（必ずしも正式の授業名ではありません）からいくつかを、ご相談の上担当していただきます 情報数理（集合、位相など）、実関数論、関数解析学、複素関数論、確率論、確率過程論、情報理論、数理統計学、数理論理学、オートマトンと形式言語、自然言語処理、人工知能（学習理論、パターン認識など） *これらの授業の多くは、教職（数学または情報）の専門科目にもなっています
応募資格	博士の学位を有する方、学部および大学院の教育・研究指導に熱意のある方
着任時期	平成23年4月1日
提出書類	履歴書、業績リスト（学位論文、原著論文（査読有・無を区別する）、その他の著作、特許などに分類してお書きください）、主要原著論文別刷（5編程度、コピー可）、これまでの教育実績（担当科目など）と教育への抱負（2000字程度）、これまでの研究の概要と今後の研究計画（それぞれ2000字程度）、応募者について照会できる方2名の氏名と連絡先（E-mailを含む）
応募締切	平成22年9月25日（必着）
送付先/照会先	〒274-8510 千葉県船橋市三山2-2-1 東邦大学理学部情報科学科 山内長承 E-mail:yamanouc@is.sci.toho-u.ac.jp Tel(047)472-1176（ダイヤルイン）「数理知能科学系教員応募書類」と朱書き簡易書留
その他	学科の詳細についてはWebページ（ http://www.is.sci.toho-u.ac.jp ）をご覧ください

■金沢大学理工研究域電子情報学系

募集人員	教授 1名（任期なし）
専門分野	情報ネットワーク（コンピュータネットワーク、通信プロトコル、ネットワークアーキテクチャなど）系分野
担当科目	情報ネットワーク（情報理論、通信方式、デジタル通信など）系の科目、大学院講義では通信理論、トラフィック理論、符号/暗号理論、情報セキュリティなど
応募資格	博士の学位を有する方、ただし、博士後期課程学生の指導経験のある方が望ましい
着任時期	平成23年4月1日（予定）
提出書類	履歴書（市販履歴書、学歴は高卒以降、学位、職歴、賞罰について自筆記入）、個人調書（履歴、研究業績リスト、研究活動・教育活動・学会および社会活動について、教育研究に対する抱負）*、主要論文別刷（5編程度、コピー可）、直接連絡のとれる住所・氏名・電話番号・E-mailアドレスを記載した連絡表 *印刷物 [ハードコピー]と共に、CD-Rなどの電子媒体を添付、 http://www.t.kanazawa-u.ac.jp/~syomu/info/koubo.html のURLから取得できる教員公募用書式ファイルを利用可
応募締切	平成22年9月30日（当日消印有効）
送付先	〒920-1192 石川県金沢市角間町 金沢大学理工研究域電子情報学系 系長 山田 実 「電子情報学系（情報ネットワーク）教員応募書類在中」と朱書き書留 *応募書類は返却いたしません
照会先	情報システムコース長 木村春彦 E-mail:kimura@blitz.ec.t.kanazawa-u.ac.jp Tel(076) 234-4836
その他	書類選考の上、候補者に対し面接（プレゼンテーション）を行います。面接の旅費等は自己負担となります。選考、および面接結果については、本人に直接通知します

■公立はこだて未来大学システム情報科学部情報アーキテクチャ学科

募集人員	教授または准教授 1名
専門分野	医療情報システム分野（医療情報システム、ヒューマン・コンピュータ・インタラクション、インタラクティブシステム、ユーザインタフェースデザイン、情報デザインなど）
担当科目	ヒューマンインタフェース、インタラクティブシステム、認知心理学、プログラミング言語論、アルゴリズムとデータ構造、ユーザ・センタード・デザイン、コンピュータアーキテクチャ、オペレーティングシステム、形式言語とオートマトンなどの中から4科目程度
応募資格	学位（博士）を有する方（着任時までに取得見込みを含む）、ヒューマン・コンピュータ・インタラクション、インタラクティブシステムまたはユーザインタフェースデザイン等を専門とし、医療情報システムに関する教育・研究に熱意を持っている方
着任時期	原則として平成23年4月1日
提出書類	履歴書（現住所、連絡先（電話番号、E-mail）、学歴（高等学校卒業以降）、職歴、研究歴、所属学会、学位、特許、賞罰を記入してください）、研究業績リスト（論文、著書、職務上の実績（特許など））、主要論文別刷（3編、各1部、コピー可）、教育実績、これまでの研究概要と今後の研究計画（A4用紙2枚以内）、教育に対する抱負（A4用紙1枚）、照会可能者2名の氏名・所属・連絡先（住所、電話番号、E-mail） *提出書類は、日本語・英語のいずれでも構いません *応募分野および応募ポストを明記のこと（教授、准教授）
応募締切	平成22年9月30日（必着）
送付先	〒041-8655 北海道函館市亀田中野町116-2 公立はこだて未来大学事務局 企画総務課 Tel(0138)34-6448 「情報アーキテクチャ学科医療情報システム分野教員応募書類在中」と朱書き簡易書留 *応募書類は返却いたしません
照会先	情報アーキテクチャ学科 学科長 岡本 誠 E-mail:recruit201005@fun.ac.jp Tel(0138)34-6233（直通）
その他	これまでの業績および必要に応じ照会者の意見を参考に選考いたします。業績については論文数とともに主要な業績の内容、内外の評価、産業技術上の貢献についても評価いたします。本学は、教員の選考に際して機会均等、多様性が重要と考え、女性や外国籍の方の採用を積極的に進めています。選考の過程で、提出いただいた資料に関する説明や、講演などをお願いすることがあります。応募の秘密を厳守いたします。 応募書類の定型フォームはWebページ（ http://www.fun.ac.jp/recruit/ ）からダウンロードできます

■上智大学理工学部機能創造理工学科

- 募集人員 助教(5年任期, ただし昇任の可能性あり) 1名
 専門分野 伝熱工学
 担当科目(予定) 伝熱工学, 機能創造理工学実験・演習, セミナール, 卒業研究指導, 設計・CADの基礎, 伝熱工学特論(院)
 応募資格 上智大学はキリスト教(カトリック)に精神的基盤を置く大学です。また, 理工学部は, 本学の特徴である高い国際性を大きな柱の1つとしています。本学の建学精神ならびに高い国際性と語学重視の教育方針を理解し, 教育・研究および学内運営に熱意をもって取り組んでいただける方。博士の学位を有する方。あるいは着任時までに取得見込みである方。卒業研究指導ができる方。英語で講義ができることが望ましい
 着任時期 平成22年4月1日
 提出書類 履歴書(E-mailアドレスを明記のこと)*, 研究業績リスト*, 科研費等外部資金取得リスト*, 主要論文別刷(5編程度, 各1部, コピー可), これまでの研究概要(2000字程度)*, [教育歴のある方のみ]これまでの教育概要*, 着任後の研究計画と教育への抱負(2000字程度)*, 応募者について問合せできる方2名(氏名・連絡先), * A4用紙, 1通 ※応募書類郵送と同時に, 氏名, 所属, 電話番号, E-mailアドレス, 連絡先住所(郵便番号含む)の情報をd-easl@sophia.ac.jpに, 件名「機能創造教員応募(伝熱工学)(氏名)」で送信すること
 応募締切 平成22年9月30日(必着)
 送付先 〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1 上智大学理工学部長 早下隆士 「機能創造理工学科教員応募(伝熱工学)」と朱書き書留 * 提出書類は返却いたしません
 照会先 機能創造理工学科長 高尾智明 E-mail:d-easl@sophia.ac.jp Tel(03)3238-3310
 その他 【選考方法】第一次選考:書類審査による選考
 第二次選考:(書類審査通過者のみ)着任後の教育・研究に対する抱負および自身の研究紹介に関する公開セミナーの後, 面接による選考。日時等は本人に直接連絡します。
 本学では, 理工学部を含め平成21年度より女性研究者支援モデル育成プログラム(グローバル社会に対応する女性研究者支援)を推進しております。優秀な女性研究者の積極的な応募も期待しています。
 選考に関する審査内容は公表しません。

■東京理科大学工学部第一部電気工学科

- 募集人員 嘱託助教(任期:原則として5年) 1名
 専門分野 通信・情報系(通信・情報を専門とし, 電気工学実験などが担当できる方)
 担当科目 電気工学実験など(予定)
 応募資格 博士号取得者または平成23年3月までに取得見込みの方(着任時に学位を取得していること)
 着任時期 平成23年4月1日
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト(論文, 著書, 学会発表等), 主要論文別刷(コピー可), 現在までの研究概要(1000字程度), 志望動機および抱負(1000字程度), 推薦書
 応募締切 平成22年9月30日(必着)
 送付先/照会先 〒102-0073 東京都千代田区九段北1-14-6 東京理科大学工学部第一部電気工学科 主任 加藤清敬
 E-mail:kato@ee.kagu.tus.ac.jp Tel/Fax(03)5228-8330
 「応募書類在中」と朱書き簡易書留 * 提出書類は返却いたしません
 その他 採用時に学位取得証明書または学位記のコピー, および健康診断書を提出していただきます

■富山県立大学工学部情報システム工学科

- 募集人員 講師または助教 1名
 所属 ソフトウェア工学講座
 専門分野 ソフトウェアシステム分野:組込みソフトウェア, ソフトウェア設計技法, コンピュータアーキテクチャ
 応募資格 博士の学位等(助教:採用時までに学位取得確実な方)
 着任時期 平成23年4月1日
 提出書類 履歴書, 学位(博士)取得証明書(コピー可), 業績リスト, 代表的論文別刷(5編, コピー可), 研究経歴書, 研究経歴と関連付けた今後の研究計画と教育についての実績および抱負, 推薦書または応募者本人に関する所見を伺える方の氏名・連絡先等
 応募締切 平成22年9月30日(必着)
 送付先/照会先 〒939-0398 富山県射水市黒河5180 富山県立大学工学部情報システム工学科 主任教授 松田弘成
 E-mail:hmatsuda@pu-toyama.ac.jp Tel(0766)56-7500(ext.474) Fax(0766)56-6172(学科事務室)
 その他 詳細はWebページ(<http://www.pu-toyama.ac.jp/>)をご覧ください

■日本大学工学部情報工学科

募集人員 工学部情報工学科 (1)助教 1名, (2)准教授 1名
 専門分野 (1)ソフトウェア工学分野, (2)ソフトウェア工学分野, 組込みソフトウェア分野
 担当科目 情報工学科・学部生向けの情報基礎科目, ソフトウェア関連科目の講義・演習および学生の指導. 准教授の場合は, 上記に加えて大学院工学研究科情報工学専攻の講義および大学院学生の指導
 応募資格 情報分野の博士の学位を有する方 ((1)は着任までに取得可能な方も含む)
 着任時期 平成23年4月1日
 提出書類 履歴書(連絡先を明記), 研究業績リスト(著書, 学会誌査読付き論文, 査読付き国際会議などに区分して記載, A4用紙), 主要論文別刷(3編以内, コピー可), これまでの研究概要(A4用紙1枚), 着任後の教育・研究についての抱負(A4用紙1枚), その他選考に役立つ情報(教育実績, 学会および社会活動, 獲得した外部資金, 受賞, 特許, ソフトウェア開発実績など), 応募者の業績等について問合せることのできる方2名の氏名と連絡先・E-mailアドレス
 応募締切 平成22年9月30日(必着)
 送付先/照会先 〒963-8642 福島県郡山市田村町徳定字中河原1 日本大学工学部情報工学科 主任 佐藤晴夫
 E-mail:sato@cs.ce.nihon-u.ac.jp Tel(024)956-8832 「教員(助教あるいは准教授)応募書類在中」と朱書きし簡易書留

■名城大学理工学部情報工学科

募集人員 教授, 准教授または助教 1名
 専門分野 メディア情報学および感性情報学の双方に関連する分野
 担当科目 情報工学科における人間情報処理, プログラミング演習, デジタル回路演習等を含む講義・演習および大学院理工学研究科情報工学専攻における授業など
 応募資格 私立大学の現状に即して, 本学での教育と研究に熱意を有する方. 現時点で博士の学位を有する方. 情報メディア分野または感性工学分野で研究実績を有する方. 大学院が担当可能な方. 着任時に55歳未満の方
 着任時期 平成23年4月1日
 提出書類 教員の個人調書(本学所定様式準拠), 教育研究業績書(本学所定様式準拠), 主要学術論文別刷(5編, コピー可), 今後の「教育」, および「研究」に対する抱負(それぞれ1000字程度), 応募者の所見が伺える方2名の氏名・所属・連絡先を記した書類
 応募締切 平成22年9月30日(必着)
 照会先/送付先 〒468-8502 愛知県名古屋市長天白区塩釜口1-501 名城大学理工学部情報工学科 学科長 田中敏光
 E-mail:toshitnk@meijo-u.ac.jp Tel(052)838-2390
 その他 応募書類の返却を希望する場合は, 切手付き返信用封筒を同封してください

■名城大学理工学部情報工学科

募集人員 准教授または助教 1名
 専門分野 数値シミュレーション, 数値解析, ハイパフォーマンスコンピューティングの分野またはソフトウェア工学の分野
 担当科目 情報工学科におけるフーリエ解析, プログラミング演習, 数値解析, ソフトウェア工学等を含む講義および大学院理工学研究科情報工学専攻における授業など
 応募資格 私立大学の現状に即して本学での教育と研究に熱意を有する方. 現時点で博士の学位を有する方. 数値シミュレーション・数値解析分野, またはソフトウェア工学分野において, 研究実績を有する方. 複数のプログラミング言語に精通している方. 大学院が担当可能な方. 着任時に45歳未満の方
 着任時期 平成23年4月1日
 提出書類 教員の個人調書(本学所定様式準拠), 教育研究業績書(本学所定様式準拠), 主要学術論文別刷(5編, コピー可), 今後の「教育」, および「研究」に対する抱負(それぞれ1000字程度), プログラミングの経験に関する説明書類とその内容を示す資料, 応募者の所見が伺える方2名の氏名・所属・連絡先を記した書類
 応募締切 平成22年9月30日(必着)
 照会先/送付先 〒468-8502 愛知県名古屋市長天白区塩釜口1-501 名城大学 理工学部情報工学科 学科長代理 津川定之
 E-mail:tsugawa@meijo-u.ac.jp Tel(052)838-2492
 その他 応募書類の返却を希望する場合は, 切手付き返信用封筒を同封してください

■名古屋市立大学大学院システム自然科学研究科

募集人員	教授、准教授または講師 1名
専門分野	(1)知覚情報処理または知能情報学、(2)自然環境に関する情報科学、のいずれかに関連する理論的あるいは応用的研究
担当科目	当研究科大学院(博士前期、後期)学生の指導および一般教養教育の数学または情報関係科目の講義
応募資格	博士の学位を有すること
着任時期	平成23年4月1日
提出書類	履歴書、希望職名(教授、准教授、講師)、研究業績リスト(査読の有無を区別)、主要論文別刷(5編以内、コピー可)、これまでの研究の概要(A4用紙2枚程度)、教育経験(一般教養教育、学部教育、大学院教育など)、今後の研究・教育についての抱負(A4用紙2枚程度)、過去5年間の研究費採択状況、特許、受賞等特記すべき事項、問合せのできる方の氏名と連絡先(2名)
応募締切	平成22年10月1日(必着)
送付先	〒467-8501 愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町山の畑1 名古屋市立大学山の畑事務室 「システム自然科学研究科教員応募書類(情報系)」と朱書き簡易書留
照会先	システム自然科学研究科 教授 木藤新一郎 E-mail:kidou@nsc.nagoya-cu.ac.jp Tel(052)872-5865
その他	詳細についてはWebページ(http://www.nsc.nagoya-cu.ac.jp)をご覧ください

■福岡工業大学工学部電子情報工学科

募集人員	教授、准教授または助教 1名
専門分野	電子工学関連分野
担当科目	電子情報工学専門教育科目(制御、通信、組み込みシステム等の回路系科目)
応募資格	専門分野に研究業績があり、以下の各項に該当する方 1)博士の学位がある方、もしくは着任時までに取得見込みの方 2)大学院の教育・研究指導が可能なる方 3)実験的研究に業績のある方が望ましい 4)教育経験のある方が望ましい
着任時期	平成23年4月1日
提出書類	履歴書(学歴、職歴、学会および社会における活動等)、研究業績リスト(著書、査読付き論文、国際会議、紀要等に区分のこと)、主要論文別刷(5編程度、コピー可)、これまでの主要研究の概要と今後の研究計画(1000字程度)、本学における教育ならびに学務に対する抱負(1000字程度)
応募締切	平成22年10月1日(必着)
送付先	〒811-0295 福岡県福岡市東区和白東3-30-1 福岡工業大学 教務課長 本行義洋 Tel(092)606-0647 Fax(092)606-7310 「電子情報工学科教員応募書類(電子工学関連)在中」と朱書き簡易書留 *提出書類は原則として返却いたしません。必要な方は申し出てください
照会先	電子情報工学科学科長 北川 興(キタガワ ハジメ) E-mail:kitagawa@fit.ac.jp Tel(092)606-3199(ダイヤルイン) Fax(092)606-0726

■福岡工業大学工学部電子情報工学科

募集人員	教授、准教授または助教 1名
専門分野	情報工学関連分野
担当科目	電子情報工学専門教育科目(情報計測、情報処理および組み込みシステム等の情報関連科目)
応募資格	専門分野に研究業績があり、以下の各項に該当する方 1)博士の学位がある方、もしくは着任時までに取得見込みの方 2)大学院の教育・研究指導が可能なる方 3)実験的研究に業績のある方が望ましい 4)教育経験のある方が望ましい
着任時期	平成23年4月1日
提出書類	履歴書(学歴、職歴、学会および社会における活動等)、研究業績リスト(著書、査読付き論文、国際会議、紀要等に区分のこと)、主要論文別刷(5編程度、コピー可)、これまでの主要研究の概要と今後の研究計画(1000字程度)、本学における教育ならびに学務に対する抱負(1000字程度)
応募締切	平成22年10月1日(必着)
送付先	〒811-0295 福岡県福岡市東区和白東3-30-1 福岡工業大学 教務課長 本行義洋 Tel(092)606-0647 Fax(092)606-7310 「電子情報工学科教員応募書類(情報工学関連)在中」と朱書き簡易書留 *提出書類は原則として返却いたしません。必要な方は申し出てください
照会先	電子情報工学科学科長 北川 興(キタガワ ハジメ) E-mail:kitagawa@fit.ac.jp Tel(092)606-3199(ダイヤルイン) Fax(092)606-0726

■北海道情報大学経営情報学部システム情報学科

募集人員	教授、准教授または講師 1名
専門分野	組込みシステム、オペレーティングシステム、ロボットソフトウェア
担当科目	組込みシステム開発、オペレーティングシステム、情報専門演習、ゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ、卒業論文などの情報学系科目と専門基礎科目。さらに、本学の通信教育課程で情報学系の科目を担当してもらう可能性があります
応募資格	次の要件を満たす方、(1)博士の学位、またはそれと同等の優れた学識を有している方、(2)大学・研究所・企業等において産業用または教育用の機器の組込み型ソフトウェアやロボットソフトウェア等の開発の実務経験や指導経験を有している方、(3)大学教育に対する見識と意欲を有している方
着任時期	平成23年4月1日
提出書類	履歴書、業績リスト(学術論文、講演論文、著書、その他業績を明記できるもの等に分類)、主要業績別刷(コピー可)、教育についての抱負を記述したもの(1000文字以内)、研究についての抱負を記述したもの(1000文字以内)、推薦書1通、本人に関してご意見を伺える方2名の氏名・所属・電話連絡先
応募締切	平成22年10月1日(必着)
送付先	〒069-8585 北海道江別市西野幌59-2 北海道情報大学 学長 長谷川淳 「システム情報学科教員応募書類在中」と朱書き書留
照会先	経営情報学部システム情報学科 学科長 森澤好臣 E-mail:morisawa@do-johodai.ac.jp Tel(011)385-4411(ext.303) Fax(011)384-0134
その他	【選考方法】書類選考の上、二次審査として10月末または11月上旬に面接を行います。面接に際しては、模擬授業を行っていただきます (1)企業や他大学等と連携し、組込みシステムのソフトウェアに関する各種のイベントやコンテストの企画開催運営等を積極的に推進していただける人材を期待しています。(2)応募書類として提出していただいた個人情報に関しては、採用選考のために限定して使用いたします。これらの個人情報は、選考終了後に速やかに本学にて責任を持って破棄しますのでご了承ください。なお、特別な理由により返却を希望される方は、返却希望である旨明記し、返却先住所等をお知らせください。(3)本学は、男女共同参画を推進しております 大学Webページ (http://www.do-johodai.ac.jp/)

■福岡工業大学情報工学部情報システム工学科

募集人員	教授または准教授いずれか 1名
専門分野	情報処理工学分野
担当科目	情報工学、システム工学(組込みソフトウェア、情報処理工学実験 等)
応募資格	専門分野の研究業績があり、以下の各項に該当する方 1)博士の学位を有する方 2)大学院の教育、研究指導が可能なる方 3)実験や研究で実践的な学生指導ができる方が望ましい 4)教育歴のあることが望ましい
着任時期	平成23年4月1日
提出書類	履歴書(学歴、職歴、学会および社会における活動等)、研究業績リスト(査読付き論文とその他の論文を区別すること。また、外部資金の獲得実績や特許などもあれば記載すること。なお、詳細については問い合わせください)、主要論文別刷*(5編程度)、これまでの研究概要と今後の研究計画、教育歴(これまでの担当科目や教育改善の取り組み、オープンキャンパスなどでの展示、出前講義などについてもあれば記載すること)、教育に対する抱負(JABEE認定を含む、1000字程度)※紙での提出の他、電子ファイル等のデジタルデータでも提出してください。ただし、*は除く
応募締切	平成22年10月22日(必着)
送付先	〒811-0295 福岡県福岡市東区和白東3-30-1 福岡工業大学 教務課長 本行義洋 Tel(092)606-0647 Fax(092)606-7310 「情報システム工学科教員応募書類在中」と朱書き簡易書留 *原則として応募書類は返却いたしませんのでご了承ください
照会先	情報システム工学科 学科長 高崎佳明 E-mail:takasaki@fit.ac.jp Tel(092)606-5704(ダイヤルイン) Fax(092)606-0754(学科事務室)
その他	本学は65歳定年です

■大阪府立大学大学院工学研究科電気・情報系専攻

募集人員	助教 1名
専門分野	知能メディア処理、特に画像や文書の認識・検索、その基礎となるパターン認識や学習
応募資格	博士の学位を有する方または着任までに取得見込みの方
着任時期	平成23年4月1日
提出書類	履歴書(本学所定様式)、研究業績等(本学所定様式)、主要論文別刷(3編以内、コピー可)、提出した論文の概要(200~400文字、様式不問)、これまでの研究概要(1000~2000字、様式不問)、採用後の教育の抱負および研究計画について(教育と研究に関しそれぞれ1000字程度、様式不問)、その他アピールできること(A4用紙1枚程度、様式不問)、推薦書1通もしくは問合せのできる方2名の連絡先
応募締切	平成22年10月29日(必着)
送付先	〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-1 大阪府立大学総務部人事課 Tel(072)254-9105
照会先	電気・情報系専攻 知能情報工学分野 主任 戸出英樹 E-mail:tode@cs.osakafu-u.ac.jp Tel(072)254-9274
その他	詳細はWebページ (http://www.osakafu-u.ac.jp/information/staff_01.html)の採用情報を参照ください

■鳥取大学大学院工学研究科

- 募集人員 教授 1名
 所 属 情報エレクトロニクス専攻知能情報工学講座
 専門分野 情報工学に関する分野（特に数理学分野）
 担当科目 (大学院)情報エレクトロニクス専攻で開設する専門科目（情報数理論など）
 (学部)知能情報工学科で開設する専門科目（情報数理論など）および数学基礎科目（基礎数学、フーリエ解析など）
 応募資格 博士の学位を有すること。専門分野に関する十分な研究業績を持ち、教育、研究および専攻運営に熱意があり、大学院博士後期課程を担当できること
 着任時期 平成22年4月1日以降のなるべく早い時期
 提出書類 履歴書（様式1）、教育歴（様式2）、研究歴（様式3）、その他の活動歴（様式4）、着任後の抱負（様式5）、研究業績リスト（様式6-1）、所見を伺える方2名の照会先または推薦状（2通、様式7）、主要論文別刷（5編程度、査読付き、コピー可）
 ※公募の詳細については、必ず鳥取大学Webページ（<http://akebia.jim.tottori-u.ac.jp/info/koubo.html>）を参照してください
 応募締切 平成22年11月8日（必着）
 送付先/照会先 〒680-8552 鳥取県鳥取市湖山町南4-101 鳥取大学大学院工学研究科情報エレクトロニクス専攻
 知能情報工学コース長 松村幸輝 E-mail:matamura@ike.tottori-u.ac.jp Tel(0857)31-5227 Fax(0857)31-0879
 「教員応募書類在中」と朱書き簡易書留または宅配便
 その他 【選考方法】専攻内選考（1次：書類審査、2次：面接）および研究科内選考

2010年度 画像符号化シンポジウム（PCSJ2010）、映像メディア処理シンポジウム（IMPS2010） 開催案内

本年度の画像符号化シンポジウム（PCSJ）と映像メディア処理シンポジウム（IMPS）は、Picture Coding Symposium（PCS）が日本で開催されるのに合わせて、PCS2010の中のworkshopとして以下の日時に開催いたします。ぜひご投稿、ご参加いただきたくご案内申し上げます。

- 【日 時】 2010年12月7日（火）
 【会 場】 ウィンクあいち（愛知県産業労働センター）（愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38） Tel(052)571-6131
 【交 通】 名古屋駅から徒歩2分
 【講演内容】 画像符号化、映像メディア処理に関するポスター発表（英語）
 【申込・原稿締切】 2010年10月1日（金）（原稿枚数は2ページ（英語））
 【参加登録】 PCS2010のsymposiumと本workshopの参加登録は共通で、本workshopのみの参加登録はできません。参加登録すると、両方の資料が頒布されます。
 【問合先】 NTTサイバースペース研究所 高村誠之 E-mail:pcsj-imps2010@lab.ntt.co.jp Tel(046)859-2371 Fax(046)859-2829
 なお、申込方法などに関する情報は以下のWWWサイトをご覧ください。One-day workshopの項目に、本workshopに関する詳細な情報を掲載いたします。
<http://www.pcs2010.org/>
 【主 催】 電子情報通信学会画像工学研究専門委員会
 【共 催】 映像情報メディア学会メディア工学研究委員会・画像電子学会
 【協 賛】 情報処理学会オーディオビジュアル複合情報処理研究会

◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集，参加案内等）の本誌掲載については，下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

記

■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金（消費税込）	
論文募集／ 参加者募集	国際会議，シンポジウム，ワークショップ，講演会，講習会などの論文募集・参加者募集	1 ページ，1/2 ページまたは 1/4 ページ	(主催・共催)	
			1 ページ	52,500 円
			1/2 ページ	31,500 円
			1/4 ページ	21,000 円
			(協賛)	
広告として取り扱う				
人材募集	国公立教育機関，国公立研究機関， 企業の人材募集	10 行程度	国公立教育機関，国公立研究機関	21,000 円
			賛助会員（企業）	31,500 円
			賛助会員以外の企業	52,500 円
* 本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り，追加料金 4,000 円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。				

■申込方法 任意の用紙に，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先，Web 掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

■原稿の書き方

- 行事次第書： A4 判カメラレディまたは PDF ファイル（フォント埋め込み）とします。
(1 ページ) 天地 260mm × 左右 175mm
(1/2 ページ) 天地 130mm × 左右 175mm
(1/4 ページ) 天地 65mm × 左右 175mm
* A4 判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。
- 人材募集： 次の項目を明記し，E-mail または Fax，郵送にてお送りください。
[募集職種，募集人員，(所属)，専門分野，(担当科目)，応募資格，着任時期，提出書類，応募締切，送付先，照会先]
* なお，都合により編集させていただく場合がありますので，ご了承ください。

■申込期限 毎月 15 日を締切日とし，翌月号（15 日発行）に掲載します。

■掲載料金 掲載号発行日に料金を請求いたしますので，3 カ月以内にお支払いください。

■掲載申込先 一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係）
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel (03) 3518-8371 Fax (03) 3518-8375

情報処理学会の会員になりませんか!

www.ipsj.or.jp

一般社団法人 情報処理学会は、ITに関する専門家集団として健全な情報化社会の実現に向けて、学術・文化・産業等の多方面に貢献しています。

情報処理学会はITにかかわる皆様のお役に立ちます。

新規会員
募集中

■活動の概要

- 機関誌（「情報処理」「情報処理学会論文誌」）の発行
- 各種行事の開催（研究発表会、全国大会、FIT（情報科学技術フォーラム）、シンポジウム、連続セミナー他）
- 情報処理教育活動
- 国際交流
- 標準化活動
- 出版活動

■会員になるには

入会金（正会員のみ）と会費をお振り込みの上、入会申込書をお送りください。理事会で承認後会員証（賛助会員除く）をお送りします。情報処理学会の会員は、個人会員と賛助会員から構成されています。

個人会員

正会員：当学会の中心的会員で、IT分野に携わっているかまたは興味のある個人
学生会員：学校に在学中の個人
準会員：小中高等学校の教職員、理事会が認めた海外居住の個人
名誉会員：当学会の活動において特別な功績のあった個人

賛助会員

当学会の活動をサポートする法人

■ご入会いただくと、こんな良いことがあります。



1 最新技術を紹介する会誌「情報処理」が毎月お手元に届きます。

2010年

特集：社会に浸透する新たなコンピュータ/ネットワークの世界（1月号）、e-サイエンスを実現するグリッド技術（2月号）連載：情報処理技術遺産、他

2 電子図書館（BookPark）で「情報処理」の過去の記事を見ることができます。

3 「連続セミナー」に会員価格（7,000円お得）で参加できます。

時代に即しかつ技術の先進性に富んだ内容をテーマに、その分野の第一線で活躍している講師を招いて年数回にわたり開催しています。2009年度は「進化する組込みシステム技術」をテーマに、6回の開催がありました。

4 ホットトピックスに対応する「シンポジウム・セミナー」（5,000円以上お得）や「研究会」に会員価格で参加できます。

ホット
トピックス

インターネット、Eビジネス、セキュリティ、ユビキタス・モバイル・情報家電・組み込み、ディベンダブルシステム、低消費電力化、リコンフィギャラブルプロセッサ、グリッド、UML・オブジェクト指向・アスペクト指向、エージェント、セマンティックウェブ・XML・データマイニング、マルチメディア、エンタテインメント・バーチャルリアリティ、e-ラーニング、バイオインフォマティクス、バイオメトリクス、量子コンピューティング・DNAコンピューティング、進化的計算・複雑系、ITS、金融工学・経済物理

5 出版図書が会員割引で購入できます。

IT Text シリーズ、英文図書 Advanced Information Technology シリーズ、等

他にも会員向けサービスがたくさんあります。詳細は学会 Web サイトをご覧ください。

お問い合わせは、
一般社団法人 情報処理学会 会員サービス部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
Tel.(03)3518-8370 Fax.(03)3518-8375 mem@ipsj.or.jp

7月1日の法人移行にともない、今年2度目の決算処理の真ただ中（ついこの間年度末決算が終わったばかりのような気が…）の7月2日現在、少し現実逃避をして楽しかった思い出を振り返る。

だいぶ前のことになるが、昨年の秋、台湾を旅行した。一番楽しみにしていた九份（ジウフエン）では雨、どしゃ降りだった。ここは3日に1日は雨というくらい雨の確率が高いところなんだとか。だから九份らしい歓迎を受けたわけだ。バスで山道を登る。かつて鉱山として繁栄した街で、山に沿ってびっしりと建物が建っている。着いた時は夕方まで街全体が薄墨の雨の中。雨に濡れ木造の建物は濃墨色。傘を差し、まるで下町の長屋が並ぶ路地のようなところを通る。ここをモデルにした、映画「千と千尋の神隠し」で観た映像とまったく同じ。両側の家はみな商店で、色とりどりの食べ物、雑貨がぎっしり置いてある。本当にたくさんの神様がゆるゆると歩いて来そうな感じ。階段を下る。眼下はすべて霧の中。早めに取った夕食の間に日はすっかり落ち、今度は真っ暗の中に赤い提灯ばかりが浮かぶ。そして雨はますます強く降り続く。軽便路から階段をさらに下る。商店はなくなり民家が連なっている。こんなところはまったく本郷（東京、文京区）の辺りを思わせる。後ろの方から雨の中階段を下る困難を訴える声が聞こえてきたが、下町と山の手の境に生まれ育った私は、坂や階段は慣れっこだ。ただ九份は夕焼けの名所でもあるらしい。やはり雨でない時に来たかっと思う。

こうして海外旅行に行くようになって思うことは、日本以外に外国のことを考えると、それぞれが1つずつ別の世界のように思っていたが、実際その土地に行って数日過ごしてみると、特にアジアなんかは土地や建物などの環境、また食事や風習にそれほどの違いはなく、圧倒的に違うのは言葉ぐらいのものであるということ。台湾は日本、中国に統治されていた経緯もあり、それより以前のオランダの植民地時代の影響とか、元々の島の文化などもあって、それらの要素が特徴を残しながら共存している。鍵の壊れたホテルの窓、料理の味付け、家主が思い思いに造ったお陰でできた上下でこぼこの歩道（風水のせいなのかとか）。日本統治時代に造られた壊れかかった古い家をまだ大事に使っている。何かどこかが足りない。けど、まあそれでもさして問題はない。人も街も私の子供の頃、日本の30年以上前までの少し貧しい時代の感じがする。台北駅の周りの現代的な新しいビルやお店が、そんな中にかえって不自然な感じで存在している。今回の旅で学んだことは、少し足りないくらいが丁度いいということ。今の日本は何もかもが出来過ぎている。

（細田直子／管理部門）



九份

■ 各種問合せ先 ■

一般社団法人 情報処理学会（本部） ※ 支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担当	E-mail	Tel (ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会、会費、変更連絡、退会、在会証明、会員証、会費等口座振替、海外からの送金
■ 会誌編集部			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容、広告掲載、転載許可、出版、著作権
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌（ジャーナル）の編集・査読
調査研究／教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録、研究発表会、シンポジウム、研究グループ、論文誌（トランザクション）
■ 事業部門			
事業／国際	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会、FIT、連続セミナー、プログラミング・シンポジウム、国際会議、IFIP委員会
■ 管理部門			
総務	soumu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会、支部、役員選挙、名誉会員
経理	keiri@ipsj.or.jp		出納、送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画、電子化委員会、電子図書館、IPSJ メールニュース
図書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp		標準化フォーラム 〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/



新刊!!

ITText **ユビキタスコンピューティング**

松下 温・佐藤明雄・重野 寛・屋代智之 共著
A5判/222頁/本体2,800円(税別)

ITText **HPCプログラミング**

寒川 光・藤野清次・長嶋利夫・高橋大介 共著
A5判/246頁/本体2,800円(税別)

ITText 一般教育シリーズ
情報と社会

駒谷昇一 編著
A5判/220頁/本体2,500円(税別)

ITText 一般教育シリーズ
情報システム基礎

神沼靖子 編著
A5判/228頁/本体2,500円(税別)

ITText 一般教育シリーズ
情報とコンピューティング

河村一樹 編著
A5判/218頁/本体2,500円(税別)

ITText **コンパイラとバーチャルマシン**

今城哲二・布広永示・岩澤京子・千葉雄司 共著
A5判/212頁/本体2,800円(税別)

ITText **コンピュータグラフィックス**

魏 大名・Carl Vilbrandt・Roman Durikovic・先田和弘・向井信彦 共著
A5判/280頁/本体3,000円(税別)

ITText **コンピュータネットワーク**

松下 温・重野 寛・屋代智之 共著
A5判/216頁/本体2,500円(税別)

ITText **音声認識システム**

鹿野清宏・伊藤克巨・河原達也・武田一哉・山本幹雄 編著
A5判/216頁/CD-ROM付/本体3,500円(税別)

ITText **エージェント工学**

西田豊明・木下哲男・北村泰彦・間瀬健二 共著
A5判/226頁/本体2,800円(税別)

ITText **ヒューマンコンピュータインタラクション**

岡田謙一・西田正吾・葛岡英明・塩澤秀和・仲谷美江 共著
A5判/240頁/本体2,800円(税別)

ITText **オペレーティングシステム**

野口健一郎 著
A5判/240頁/本体2,800円(税別)

ITText **データベース**

速水治夫・宮崎収兄・山崎晴明 共著
A5判/196頁/本体2,500円(税別)

ITText **ソフトウェア工学演習**

伊藤 潔・廣田豊彦・富士 隆・熊谷 敏・川端 亮 共著
A5判/228頁/本体2,800円(税別)

ITText **情報リテラシー**

海野 敏・田村恭久 共著
A5判/248頁/本体2,800円(税別)

ITText **人工知能**

本位田真一 監修 松本一教・宮原哲浩・永井保夫 共著
A5判/200頁/本体2,500円(税別)

ITText **コンピュータアーキテクチャ**

内田啓一郎・小柳 滋 共著
A5判/236頁/本体2,800円(税別)

ITText **データマイニングの基礎**

元田 浩・津本周作・山口高平・沼尾正行 共著
A5判/292頁/本体3,200円(税別)

ITText **自然言語処理**

天野真家・石崎 俊・宇津呂武仁・成田真澄・福本淳一 共著
A5判/192頁/本体2,500円(税別)

ITText **応用Web技術**

市村 哲・宇田隆哉・伊藤雅仁 共著
A5判/210頁/本体2,500円(税別)

ITText **認知インタフェース**

加藤 隆 著
A5判/248頁/本体2,800円(税別)

ITText **プログラム仕様記述論**

荒木啓二郎・張 漢明 共著
A5判/210頁/本体2,800円(税別)

ITText **情報と職業**

駒谷昇一・辰巳丈夫・楠元範明 共著
A5判/232頁/本体2,500円(税別)

ITText **アルゴリズム論**

浅野哲夫・和田幸一・増澤利光 共著
A5判/242頁/本体2,800円(税別)

ITText **ソフトウェア開発**

小泉寿男・辻 秀一・吉田幸二・中島 毅 共著
A5判/224頁/本体2,800円(税別)

ITText **基礎Web技術**

松下 温 監修/市村 哲・宇田隆哉・伊藤雅仁 共著
A5判/200頁/本体2,500円(税別)

ITText **知識マネジメント**

大澤幸生 編著
A5判/232頁/本体2,800円(税別)

ITText **情報セキュリティ**

宮地充子・菊池浩明 編著
A5判/280頁/本体3,000円(税別)

ITText **分散処理**

谷口秀夫 編著
A5判/240頁/本体2,800円(税別)

ITText **Linux演習**

前野謙二・落合 昭・生野荘一郎・塩澤秀和・高島俊徳 共著
A5判/224頁/本体2,500円(税別)

ITText **インターネットプロトコル**

阪田史郎 編著
A5判/272頁/本体2,800円(税別)

ITText **組込みシステム**

阪田史郎 著 高田広章 編著
A5判/280頁/本体3,000円(税別)

ITText **システムLSI設計工学**

藤田昌宏 編著
A5判/242頁/本体2,800円(税別)

ITText **Java基本プログラミング**

今城哲二 編 布広永示・マッキン ケネス・ジェームス・大見嘉弘 共著
A5判/234頁/本体2,500円(税別)

ITText **人画像処理**

越後富夫・岩井儀雄・森島繁生・藤見和彦・井岡幹博・八木康史 共著
A5判/258頁/本体2,800円(税別)

ITText **情報理論**

白木善尚 編 村松 純・岩田賢一・有村光晴・渋谷智治 共著
A5判/248頁/本体2,800円(税別)

ITText **Java/UMLによるアプリケーション開発**

布広永示・高橋英男 共著
A5判/208頁/本体2,600円(税別)

ITText **Javaオブジェクト指向プログラミング**

布広永示 編著
A5判/280頁/本体2,800円(税別)

お申し込みは



オーム社

101-8460 東京都千代田区神田錦町3-1
TEL 03(3233)0641 FAX 03(3293)6224



<http://www.ohmsha.co.jp/>
本体価格(税別)は変更する場合があります。

一般社団法人への移行に伴う法人名称変更のお知らせ

本会では新公益法人制度に対応するため、一般社団法人への移行手続を進めてまいりましたが、この度、内閣総理大臣の認可を得て、平成22年7月1日（移行登記日）をもって、一般社団法人へ移行いたしました。これに伴い下記の通り、法人名称が変更されましたので、ここにお知らせいたします。なお、法令に基づき、旧法人からの権利義務は新法人がすべて継承し、法人としては同一性を持って存続いたしますことを併せてお知らせいたします。

記

新法人名：一般社団法人 情報処理学会
旧法人名：社団法人 情報処理学会
変更日：平成22年7月1日

 <p>府 益 担 第 2 1 0 6 号 平成 2 2 年 6 月 1 8 日</p> <p>社団法人情報処理学会 白鳥 則郎 殿</p> <p>内閣総理大臣 菅 直</p>  <p>認可書</p> <p>平成21年1月15日付け申請に対し、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律（平成18年法律第50号）第45条の規定に基づき、別紙のとおり一般社団法人として認可する。</p>	<p>別紙</p> <ol style="list-style-type: none">1. 法人コード：A0014842. 法人の名称：社団法人情報処理学会3. 認可を受けた後の法人の名称：一般社団法人情報処理学会4. 代表者の氏名：白鳥 則郎5. 主たる事務所の所在場所 東京都千代田区神田駿河台一丁目5番6. 公益目的支出計画の作成の要否：要7. 旧主務官庁の名称：文部科学省
---	---

平成22年度臨時総会の開催について

会長 白鳥 則郎

平成22年7月1日の一般社団法人移行により、法令に基づき、旧社団法人の最終年度（4月1日～6月30日）に係る決算承認のための臨時総会を下記により開催いたします。総会の案内状は、法律上の社員である代表会員に郵送いたしますので、ご欠席の場合には、必ず議決権行使書面をご返送ください。

記

日時 平成22年8月30日（月） 15：00～15：15頃
会場 化学会館6階601会議室（東京都千代田区神田駿河台1-5）
議案 1. 特例民法法人としての最終事業年度に係る決算

会誌「情報処理」52巻表紙デザイン募集!!



会誌編集委員会

会誌編集委員会では、読者の方々にとってより親しみやすく、また商業誌では得られない知識の習得に役立つ雑誌を目指し、日々努力しております。

つきましては、来年の表紙デザインを広く募集いたします。奮ってご応募ください。採用された方には賞金を贈呈いたします。

応募条件 ・表紙のデザイン（裏表紙、背表紙は含まず）。

- ・A4判（天地 297mm× 左右 210mm）4色フルカラー。
- ・描画手法は問いません。
- ・「情報処理」の題字、巻号、法定文字、記事タイトル等必要項目は現会誌をご覧ください。
- ・応募資格は問いません。
- ・詳細は会誌編集部門までお問い合わせください。

注意事項 ・応募作品は返却いたしません。

- ・採用作品の掲載にあたって、学会側で多少の変更をさせていただく場合があります。
- ・採用作品の著作権（著作権法第27条、第28条の権利を含む）は情報処理学会に帰属します。
- ・応募作品は未発表のものに限ります（応募作品の知的財産権について、第三者との間に紛争が生じた場合は、作者がその責を負う）。
- ・応募される場合は、上記注意事項に同意されたものとみなします。

応募締切 平成22年11月1日（月）（必着）

結果通知 平成22年12月下旬

賞 金 採用者1名に5万円

送付先／照会先 一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F

E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel.03-3518-8371 Fax.03-3518-8375



論文誌ジャーナル掲載論文リスト
Vol.51 No.8 (Aug. 2010)

【一般論文】

- τ 法による x が大きい場合の $x \{J_v^2(x) + Y_v^2(x)\}$ の数値計算
吉田年雄
- 放送通信融合環境における再生中断時間短縮のためのストリーミング配信手法
義久智樹 他
- 機能と視覚的情報の関係性に基づく物体の概念モデル
中村友昭 他
- 評価者間類似度計算の改善による汚染コンテンツダウンロード抑制効果向上
山中広明 他

- 統計的機械翻訳におけるフレーズ対応最適化を利用した N-best 翻訳候補のリランキング
越川 満 他
- 説得性に基づく情報推薦手法の提案*
小柴 等 他
- 枝刈り可能量の予測と探索開始点の考慮による色ヒストグラムを用いた画像探索の高速化
大町真一郎 他
- 専門分野の素人に選択される研究発表タイトルの推定
西原陽子 他

*: 推薦論文 Recommended Paper
†: テクニカルノート Technical Note



訂 正

本誌 51 巻 7 号 (2010 年 7 月号) の特集「実世界インタフェースの新たな展開: 10. 体験メディア: グループ活動の文脈に埋め込まれた実世界メディア」に誤りがありました。お詫びして以下の通り訂正いたします。

p.834 図 -9 キャプション (誤) PhotoChat の利用例 (正) 音響的近さに基づいた会話場の検出システム Neary の動作イメージ

書評・会議レポート募集のお知らせ

情報処理学会会誌編集委員会では、会誌「情報処理」に掲載する書評、および会議レポートを広く会員の皆さまから募集しています。

1. 募集対象 次の 2 種類の記事について、原稿を募集します。

- a) 書 評 : 過去 2 年間に出版された、本学会員にとって有益な図書についての紹介もしくは批評。
- b) 会議レポート: 情報処理に関する国際規模の会議・大会の報告など、時事性が高く、本学会員に広く知らせる価値のある話題。

2. 応募資格

原則として本学会員に限ります。

3. 応募の手続き

- 1) 表 題: 書評の場合は、著者名、書名、ページ数、発行所、発行年、価格、ISBN を書く。
会議レポートは、見出しを書く。書評、会議レポートの別を左肩に書く。
- 2) 評者名 (会議レポートの場合は筆署名)・所属・評者連絡先 (住所、E-mail、Fax など) の記載を忘れずに。
- 3) 本 文: 書評、会議レポートとも 2,100 字前後で書く。
- 4) (必要であれば) 参考文献、付録、図、表をつける。
詳しくは「原稿執筆案内」(<http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/shippitsu/kaishi.html>) を参照してください。

4. 原稿の取扱い

投稿された原稿は会誌編集委員会で審査し、採否を決定します。採用にあたっては原稿の修正をお願いすることがあります。あらかじめご了承ください。

5. 照会/応募先 一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門 E-mail:editj@ipsj.or.jp

ご意見をお寄せください！

【9月10日頃までにお出しください】

宛先 一般社団法人 情報処理学会 モニタ係（下記のいずれからも送付できます）
http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq5108.html Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp
(E-mailで送信される場合は、10-1-aのようにコードでお答えください)
※ ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。
http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html

[コード]

- (1) ご氏名
- (2) ご所属 Tel. () -
- (3) E-mail:
- (4) 業種：(a) 企業（サービス業）(b) 企業（製造業）(c) 研究機関 (d) 教育機関（大学・高専など）
(e) 学生 (f) その他 4- []
- (5) 職種：(a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教官/教員（大学・大学院）(h) 教職員（小・中・高校・高専など）
(i) 学生 (j) その他 5- []
- (6) 年齢：(a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6- []
- (7) 性別：(a) 男性 (b) 女性 7- []
- (8) あなたはモニタですか？：(a) はい (b) いいえ 8- []
- (9) あなたの意見は「会員の広場」（会誌およびWeb）に掲載される場合があります。その場合：
(a) 実名可（氏名のみ掲載）(b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない 9- []
- (10) 今月号（2010年8月号）の記事はお役に立ちましたか、下記の記事すべてについて評価をご回答ください。
[a…大変参考になった b…よい c…普通、どちらとも言えない d…悪い e…読んでいない]

特集：エネルギーの情報化

1. エネルギーの情報化とは 10-1- []
2. スマートタッグの共通仕様化に向けて 10-2- []
3. 電力のバケット化とルーティング技術 10-3- []
4. オンデマンド型家庭内電力ネットワークのための QoEn（エネルギー品質）を考慮した経路制御 10-4- []
5. ホームネットワーク（OSGI, ECHONET）モデルに基づく家庭内エネルギー管理 10-5- []
6. DC エコハウスにおけるエネルギー管理 10-6- []
7. 「エネルギーの情報化」を実現するソーシャルエンジニアリングに関する一考察 10-7- []
8. 米国を中心としたスマートグリッドの動向 10-8- []

ミニ特集：コンピュータ将棋の不遜な挑戦

1. 「あから2010」の不遜な挑戦 10-9- []
2. コンピュータ将棋の最近の動向 10-10- []
3. 選手権優勝記 10-11- []
4. 大規模クラスタシステムでの実行 10-12- []
5. プロ棋士から見た選手権2010 10-13- []
6. 最強将棋ソフト「激指」との戦いに学ぶ 10-14- []
7. プロとコンピュータ将棋 10-15- []

OpenFlow 技術の概要

- OpenFlow 技術の概要 10-16- []
- 素因数分解技術の進展 10-17- []
- 崩壊する周産期医療を救う IT 10-18- []
- 記述の科学 10-19- []
- 研究会推薦博士論文速報 10-20- []
- "I" 見聞録：CES 2010 10-21- []
- "I" 見聞録：TRECVID 2009 10-22- []
- 情報技術の国際標準化と日本の対応 10-23- []

(11) 本号で最も良かった記事は何ですか？ 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入）、その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- 〔11-1〕良かった記事 11-1- []
- 〔11-2〕選んだ理由（下記から、いくつでも選択可） 11-2- []
- a) 技術・研究動向がよく分かった b) 知的興味をかきたてられた c) 新たな知識を得ることができた d) 内容が平易で理解しやすかった
e) その他（具体的に下記にご記入ください）

(12) 本号で最も良くなかった記事は何ですか？ 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入）、その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- 〔12-1〕良くなかった記事 12-1- []
- 〔12-2〕選んだ理由（下記から、いくつでも選択可） 12-2- []
- a) 記事の内容に誤りがあった b) ありきたりの内容だった c) 記事が難しすぎた d) 何を言いたいのか分からなかった e) 宣伝の意図が強すぎる
f) テーマに興味を持てなかった g) その他（下記に具体的に記入ください）

(13) 設問〔10〕で読んでいないと答えた記事について、その理由を教えてください。

(14) 会誌に対するご意見や感想、著者への質問、今後取り上げて欲しいテーマなどありましたらご記入ください。（スペースが足りない場合はお手数ですが別紙を追加してください）

健康と環境への関心は地球規模で拡大しています。ブームを通り越して氾濫といっても良いかもしれません。こうなると、ビジネスへの期待も大きく研究資金公募も増えています。両者は産業の近代化が自然の摂理を破壊し病理を生んでいるという意味でよく似ています。実のところ、違いは対象が人間か地球かという点だけで、実際、便利で豊かな生活に慣れ親しんだ人類が、すでに身に付けてしまった快適さを捨ててまで節制したり節約したりすることは容易ではありません。「エネルギーの情報化」は、人々の生活を情報システムでうまく管理して「環境」を守ろうというアプローチの1つですが、もしかしたらそれは「健康」に関して有効なアプローチなのではないでしょうか。私自身はこのような観点で現在、両者をターゲットにしたシステムづくりを進めています。

「編集にあたって」でも述べたとおり今回の企画は京都大学の松山

隆司先生にお願いしたものです。「エネルギーの情報化」はご自身のスローガンで、最近注目されており、講演会などでも引っ張りだこのようです。しかし、これを特集のタイトルにするかどうかについては編集委員会で議論になり、意味が分かりにくいのではないか、プロパガンダ的にならないかなどの点が問題になりました。結局、副題を入れることで決着しましたが、学会としての中立性を保ちながら主旨を損なうことのないようにと、著者の皆さんとも細部にわたって何度も修正のやりとりをさせていただきました。この分野はいろいろな人の「思い」がある分、いつも以上に構成や編集での調整が多かったように思います。松山先生はじめご尽力いただいた皆様にこの場を借りてお礼を申し上げます。地球の健康に加え、松山先生、著者、読者の皆さん、さらには自分自身の健康を願いつつ、

(塚本昌彦／本特集エディタ)

恒例になった夏のコンピュータ将棋の小特集です。10月にコンピュータがプロ棋士に挑戦できることになったので将棋界全体が熱くなっています。コンピュータ側は当然ですが、迎え撃つプロ棋士側も本気になってきました。その熱い思いを読みとっていただければうれしいです。すんなり勝たせてもらえるかはともかくとして、いまや将棋界はコンピュータ抜きでは考えられなくなりつつあります。多くのプロ棋士は棋譜のデータベースで最新情報を分析して研究に利用しています。プロ棋士が対局中にコンピュータの助けを借りることはありませんが、リアルタイムの検討で観戦記者や解説のプロ棋士がコンピュータに意

見を聞くことは普通になっています。たとえば今回の選手権でも上位入賞したGPS将棋はプロ棋士のタイトル戦の最中にtwitterでつぶやいていて、トッププロ棋士が指した悪手を無邪気に批判してそれに代わる最善手を指摘することもあります。コンピュータが人間のよいライバルになれば、プロ棋士がそれに対抗して頑張るので、将棋界全体のレベルが上がってくれるのではないかと、小さい頃からの将棋の大ファンとしてはそのように期待しています。

(松原 仁／本ミニ特集エディタ)

次号 (9月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」センシングネットワーク

総論／社会創造に資するセンシングプラットフォーム／センシングデータ処理基盤技術—ストリームデータ処理—／センサ・アクチュエータ・ネットワークの情報処理基盤／ユビキタス社会のプライバシーとその保護技術／防災情報取得の新しい展開／プローブ情報システム：車載センサを活用した環境情報の取得／携帯電話を用いたセンシングの可能性と課題／参加型都市センシングによる価値共創モデルの可能性／Web空間からの実世界情報の発掘

解説：離散対数問題解説世界記録更新への道—676ビットの解説—……………林 卓也 他

連載：記述の科学／研究会推薦博士論文速報／古機巡礼／二進伝心／ロボカップみちしるべ

コラム：“I” 見聞録

複写される方へ

本会は下記協会に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写したい方は、同協会より許諾を受けて複写してください。ただし、(社)日本複写権センター(同協会より権利を再委託)と包括複写許諾契約を締結されている企業の社員による社内利用目的の複写はその必要はありません(社外頒布用の複写は許諾が必要です)。

権利委託先：一般社団法人学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル

E-mail: info@jaacc.jp Tel (03)3475-5618 Fax (03)3475-5619

なお、著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、学術著作権協会では扱っていませんので、本会へご連絡ください。

また、アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡してください。
Copyright Clearance Center, Inc.
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA
Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

Notice for Photocopying

If you wish to photocopy any work of this publication, you have to get permission from the following organization to which licensing of copyright clearance is delegated by the copyright owner.

<All users except those in USA>

Japan Academic Association for Copyright Clearance, Inc. (JAACC)

6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan

E-mail: info@jaacc.jp

Phone: 81-3-3475-5618 Fax: 81-3-3475-5619

<Users in USA>

Copyright Clearance Center, Inc.

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA

Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4色	2色	1色
表2	346,500円 (税抜330,000円)	—	—
表3	288,750円 (税抜275,000円)	—	—
表4	404,250円 (税抜385,000円)	—	—
表2対向	315,000円 (税抜300,000円)	—	—
表3対向	278,250円 (税抜265,000円)	199,500円 (税抜190,000円)	162,750円 (税抜155,000円)
前付1頁	262,500円 (税抜250,000円)	173,250円 (税抜165,000円)	141,750円 (税抜135,000円)
前付1/2頁	—	—	84,000円 (税抜80,000円)
前付最終	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
目次前	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
差込 (A判70.5kg未満 1枚)	288,750円 (税抜275,000円)		
差込 (A判70.5kg～86.5kg 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		
同封 (A判 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		

■「情報処理」

発行 一般社団法人 情報処理学会
 発行部数 25,000部
 体裁 A4判
 発行日 毎当月15日
 申込締切 前月10日
 原稿締切 前月20日
 広告原稿 完全版下データ
 原稿寸法 1頁 天地260mm×左右180mm
 1/2頁 天地125mm×左右180mm
 雑誌寸法 天地297mm×左右210mm

■問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27
 アドコム・メディア(株) (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

*原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます。
 *同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて(またはE-mailにて必要事項を記入の上)アドコム・メディア(株)宛にご請求ください。

■「情報処理」 51巻8号 掲載広告(五十音順)

- オーム社……………表2対向 富士通……………表4
 サイエンス社……………目次前

すべての会社を希望

■資料送付先

フリガナ
お名前 _____

勤務先 _____ 所属部署 _____

所在地 (〒 _____) _____

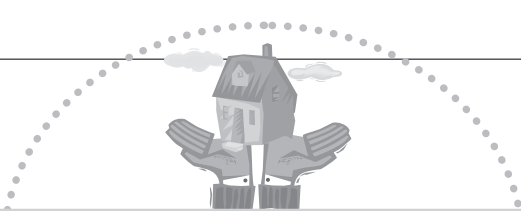
TEL (_____) _____ - _____ FAX (_____) _____

ご専門の分野 _____



お問合せ・お申込み・資料請求は
広告総代理店 アドコム・メディア(株)

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp



賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp>) 「会員サービス」のページからも各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 一般社団法人 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail:mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (20 ~ 50口)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立製作所

FUJITSU

富士通 (株)

NEC

日本電気 (株)

MITSUBISHI
Changes for the Better

三菱電機 (株)

TOSHIBA

(株) 東芝

IBM

日本アイ・ビー・エム (株)

●●● 賛助会員 (10 ~ 19口)



株式会社NTTデータ
(株) NTT データ

Google

グーグル (株)

NTT docomo

(株) NTT ドコモ

NTT

日本電信電話 (株)

Microsoft

マイクロソフト (株)

●●● 賛助会員 (3 ~ 9口)



NTTコムウェア
NTT コムウェア (株)

OKI

沖電気工業 (株)

楽R天

楽天 (株)



Fusic Co., Ltd.
(株) Fusic

ilovex

(株) アイロベックス

INFOJAM

(株) インフォジャム

uejima SONY

(株) うえじま企画

SONY

ソニー (株)

コトバウチユウ

(株) ニュースウォッチ

Panasonic
ideas for life

パナソニック (株)

ITの最新情報，研
究発表の場の提供
を通じて，あなた
のお役に立ちます

詳しくは <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

会員募集中!!

今一番新しい
研究分野は
何かな?

IT時代を
リードしたい!

そうだ、
情報処理学会に
入ろう!



申込/照会先 一般社団法人 情報処理学会
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
Tel(03)3518-8370(会員サービス部門) E-mail:mem@ipsj.or.jp

